

臨時レポート

(審査確認番号H29-TB261)

FOMC (米連邦公開市場委員会) バランスシート縮小開始へ

市場の予想通りバランスシート縮小を10月から開始

- バランスシートの縮小を開始。10月より米国債、MBS等合わせて毎月100億ドルずつ減少を開始。
- 大方の予想通り政策金利を据え置き（誘導目標を1.00～1.25%に維持）。FOMC参加者の多くは今年あと1回の利上げを予想。今後の利上げペースが注目される。
- 今年のインフレ（物価上昇）見通しを下方修正し前年比で1.5%上昇とした。

<市場の予想通りバランスシート縮小を開始し、金利は据え置き>

● FOMCは9月20～21日の定例会合で、政策金利を現状維持の1.00～1.25%としました。市場の大方の予想通り金融政策を据え置きました。今年に入りこれまで3月と6月に2度の利上げを行いました。バランスシート縮小を開始することで、次の利上げ時期に注目が集まるところですが、多くのFOMC参加者が今年中にあと1回の利上げを予測していることが公表されました。

● 6月のFOMCにおいて示されたバランスシート正常化プログラム※については、10月から開始すると発表されました。イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長は“バランスシート縮小は金融引き締めではない”旨を強調しました。

※バランスシートの縮小計画

①10月から、

「米国債 60億ドル」 + 「MBS（住宅ローン担保証券）等 40億ドル」 = 「合計100億ドル」を毎月減少させ始める

② 3カ月ごとに「米国債は60億ドルずつ」、「MBS等は40億ドルずつ」減少速度を速め、

1年をかけて「米国債 300億ドル」 + 「MBS等 200億ドル」 = 「合計500億ドル」を毎月減少させていく

● 物価については、FRBがインフレ指標としている食品とエネルギー価格を除いた8月のコア物価指数は前月比で0.2%、前年比では1.7%上昇と目標とする2%を下回る状態が続いています。声明では今年の物価見通しを前年比1.7%上昇から1.5%上昇へと下方修正しました。

<米国債券金利は上昇、為替はドル高/円安、米国株はNYダウは連日の史上最高値を更新>

● 市場ではバランスシート縮小開始が決定し、金融政策は「次のステージ」に移ったとの見方もあり、今後の利上げペースに注目に集まるところです。当日の市場は、FOMCで今年あと1回、来年3回の利上げ予想とこれまでの予想が維持されたことがややタカ派（金融引き締め推進派）と捉えられ、金利の先高感を織り込み米国債券市場は金利が上昇しました。米国金利の上昇を受けて為替はドル高/円安傾向で推移しました。米国株は金利先高感による銀行の利益拡大の期待から金融株を中心に上昇し、前日に史上最高値を更新していたNYダウ・S&P500は揃って2日連続で史上最高値を更新しました。

図表1：米国株式指数の推移



図表2：米国債券・為替の推移



出所）図表1、図表2はブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会